

**神辺町川南土地区画整理
事業の取り組み（水曜会）**

問 18年度の、地区別・整備予定路線別などの住民説明会の開催回数と、説明会での問題点、進捗状況、合意の方向性については、

答 説明会を合計12回開催し、さらに、事業に対する一層の理解を深めるために、個別説明会、相談会を9回開催した。しかし、長期にわたり事業が停滞してきたことや、整備手法が異なることへの戸惑いなどから、事業効果について十分な理解がいただけない状況である。今後とも、説明会を参加しやすい時間帯で、より多くの意見交換ができるような小規模な単位で繰り返し行うなど、課題を整理しながら、早期事業化を目指していく。

◆関連質問

・合併建設計画について（公明党）

神辺地区（川南）（まちづくり事業）（日本共産党）

問 1999年に区画整理事業を行うとの都市計画決定がされたが、その後、大規模な事業の見直

しが行われた。区画整理事業の権者の賛成は、2005年の意向調査で41%に過ぎないとのことであるが、その進捗状況は。都市計画道路の建設は、要望もあり、区画整理事業予定地内の事業は、用地買収方式で行うことを求める。

答 この事業は、重要な事業として合併建設計画に位置づけられている。18年度は、説明会や相談会を計21回開催したが、事業効果について十分な理解がいただけない状況である。説明会を繰り返し行うことにより、関係者への理解を深め、早期の事業化を目指す。また、土地区画整理事業施行の効果について理解を深めていく。

合併地域の文化行政の課題（明政会）

問 合併地域では、合併前から取り組んできた文化活動や歴史継承について課題がある。青年団運動の父と呼ばれた山本瀧之助の記念室が、合併前から現在の沼隈図書館の一角に設置され、図書館活動と一体的な位置づけになっていたが、合併後は切り離されている。歴史の継承についての考えは。

答 それぞれの文化や歴史を大

切にし継承することは、本市のさらなる発展に寄与するものと考えられる。山本瀧之助などの先人たちの足跡や業績は、広報や図書館などにより紹介し、伝統文化の発表の場も設けてきた。さらに、各地域においても協働のまちづくり事業を活用し、地域づくりの推進に努めていただいております。今後とも、合併地域を含めた本市全体の文化水準の向上を図りたい。



山本瀧之助記念室

発達障害のある児童生徒への対応（誠友会）

問 ※LD、ADHDなどの発達障害のある児童生徒への対応は大きな課題である。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理

士といった発達障害の専門家を市のセンターに配置し、必要に応じて各学校に派遣するという案もある。本市でも検討してはどうか。

答 17年度から実施している心理学療法士、作業療法士などの専門家を学校に派遣する国・県の巡回相談事業を、19年度から本市施策として引き継ぐ体制を整えた。

さらに、各学校においては、特別支援教育コーディネーター担当教員の指名と校内委員会の設置により、発達障害の特性に配慮した支援のあり方について、教職員の共通理解を図り、学校体制として取り組むよう努めている。

可決した意見書

議員提案による次の意見書を可決し、福山市議会の意思として、政策の実現に向け、国会および関係省庁に送付しました。

詳しい内容は、議会のホームページでご覧いただけます。

- ◆義務教育費国庫負担制度に関する意見書
- ◆地方の道路整備の促進に関する意見書

※LD（学習障害）：一般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する、推論する能力のうち、特定のものの習得と使用に困難を示す状態。ADHD（注意欠陥／多動性障害）：年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、および衝動性、多動性を特徴とする障害で、社会活動や学業の機能に障害をきたすもの。